



平成15年度

ごみに関する市民アンケート結果

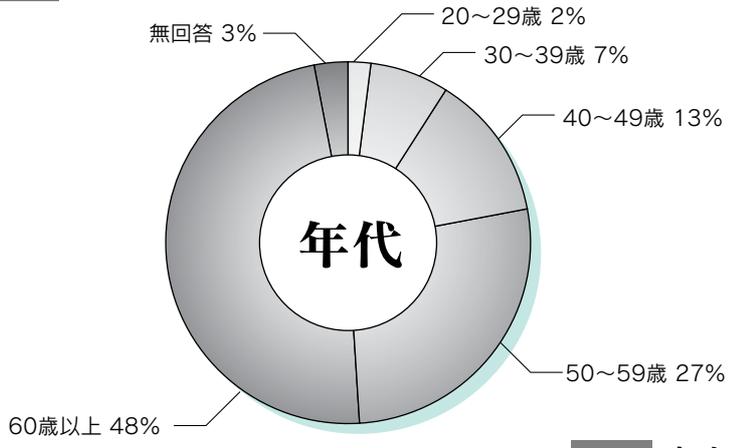
アンケート結果に関するお問い合わせは…
環境清掃課 ☎ 22-7040

(ダイジェスト版)

循環型社会の構築を目指し、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確化しコラボレーション（協働）のもとで、市民のみなさんがごみの発生抑制の意識向上とごみを出さない生活活動を実践することが必要でありその果たす役割は大きいとされています。市民のみなさんが一般廃棄物（ごみ）に対して、どのような認識と課題等を持っているのかを十分に把握し、「循環型社会の構築と環境にやさしい市民総参加のまちづくり」の施策に反映していくものです。内容については排出抑制・ごみの減量・資源化・ごみの分別方法等についてどのような認識と課題等を持っているのかを把握することを目的とし行いました。

それぞれの設問に対する回答の集計結果をお知らせします。

Q あなたの年齢は？



◆実施対象

全世帯数の3.5%対象
(19,850世帯×3.5%≒700世帯)

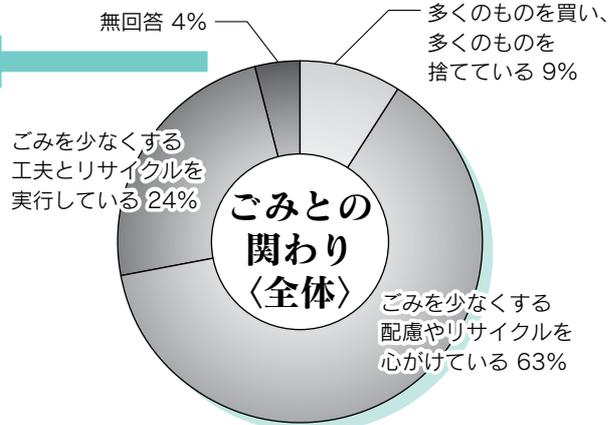
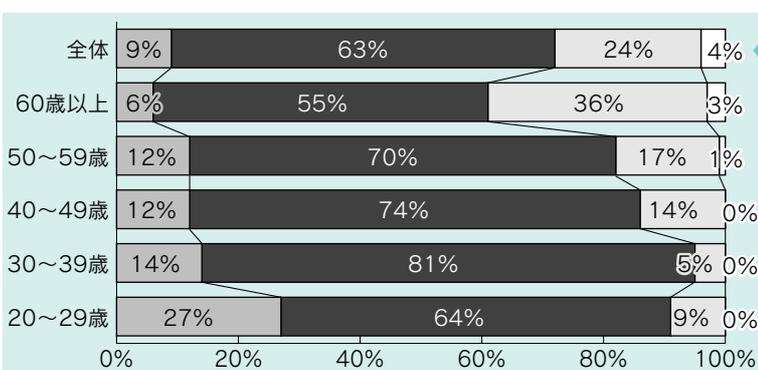
◆配布・回収方法

ごみ減量等市民推進会議（エコライフ岡谷）等の組織を通じての配布と回収

◆回収結果

配布数 700枚、回収枚数 580枚、
回収率 83%

Q あなたのご家庭では日ごろの暮らしの中で、ごみとどのように関わっていますか？



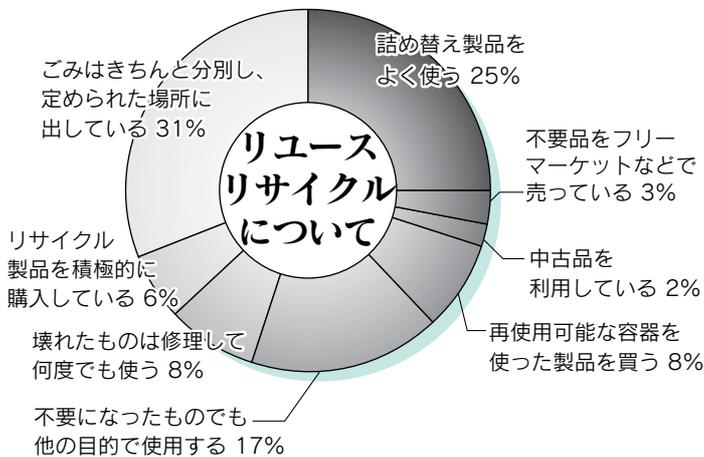
◇ 87%の方が暮らしの中でごみの意識をもって取組みをいただいている。また、年齢別では年齢が若くなるほどごみに対する意識が低くなっている。

ごみに関する市民アンケート結果

次号の「広報おかや」でパネ
ルディスカッションの模様をお
伝えます

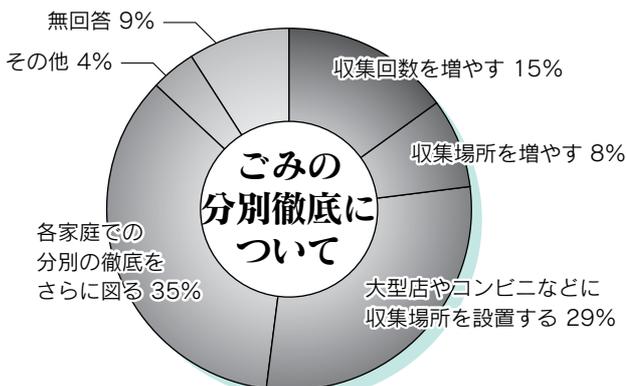


Q あなたのご家庭では、日ごろ、一度使ったものを再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）するため、心がけていることは？



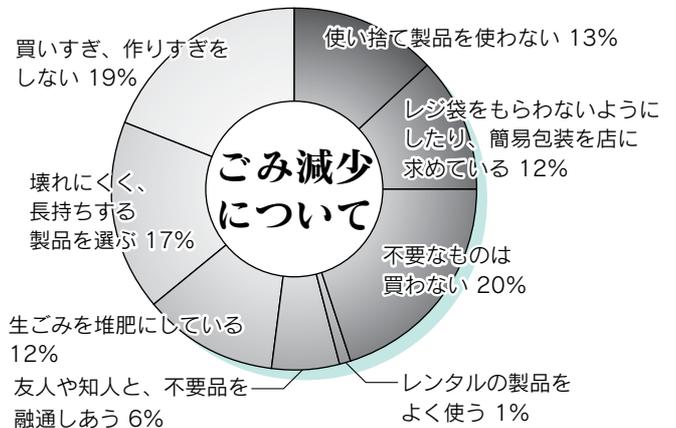
◇分別する・詰め替え製品を使う・不要になったものを他の目的で使用するの回答が、約70%を占めている。とくに分別については、日ごろより分別に協力している方が31%となっている。

Q ごみの分別の徹底と分別回収を進める上で、有効だと思われるのはどんなことだと思いますか？



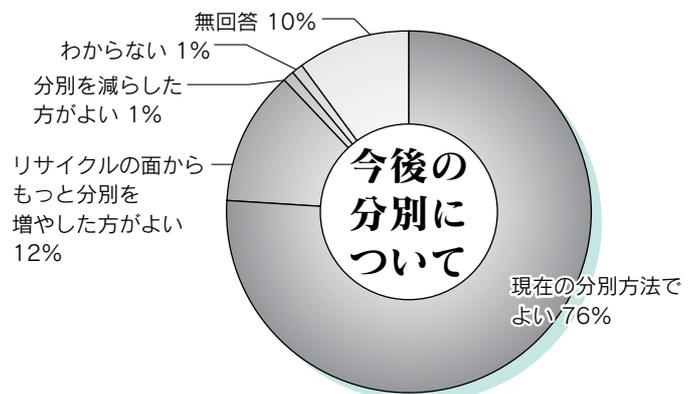
◇大型店やコンビニなどへの収集場所の設置や、各家庭での分別の徹底をさらに図るの回答が多く、合わせて64%となっている。

Q あなたのご家庭では、日ごろ、ごみを少なくするために心がけていることは？



◇不要なものを買わない・買いすぎない・長持ちをする製品を買うなど購入するときに、ごみ減量を心がけている方が約70%を占めている。

Q 今後の分別についてどのようにお考えですか？



◇現在の分別方法でよいとした方が約8割で、分別を減らした方がよいという方はほとんどいない。分別を増やした方がよいという方は12%で、その品目はプラスチック製品と回答した方が多い。

具体的な分別品目は

- ・プラスチック製品 22人
- ・紙類を細かく分類 9人
- ・発泡スチロール 8人
- ・ビニール製品 8人
- ・生ごみ 6人
- ・色付きトレイ 5人

総務部税務課

☎ 23-4811

内線 1125

☎ 22-4146

くらしと市税

2003



住民税などの 所得申告の準備を 始めませんか

新年を迎えましたが、2月16日からは平成15年分の確定申告、住民税申告が始まります。

岡谷市では毎年、申告相談を行っています。お持ちの書類の整理、確認等に時間がかかり、相談者の方をお待たせしています。そこで、申告相談が始まる前に準備ができるよう、医療費控除事前相談会を行います。

来年の申告をお考えの方で、医療費控除を受けようとお考えの方、退職等による還付申告をお考えの方はぜひご参加いただき、早めの準備をお願いします。

医療費控除事前相談会

確定申告、住民税申告の際には、所得から平成15年中に支払った医療費をもとに計算した金額を控除できることとなっております。この控除を受けるためには、領収書の整理、内容確認、明細書の作成などが必要です。これらの書類の整理、作成をお手伝いする相談会です。

持ち物 医療費等の領収書、証明書等（所得のわかる源泉徴収票等をお持ちください）

日程 1月19日(月) 市役所401A・B会議室（午前10時～午後7時30分）
1月20日(火) 市役所602会議室（午前10時～午後7時30分）
1月21日(水) 市役所605会議室（午前10時～午後4時30分）

申告相談 市内を巡回し、住民税などの所得申告の相談、受付を行います。期間のうち2日間は、確定申告書作成指導会も同時に行います。

日程 2月16日(月)～3月15日(月)（土・日曜・祝日は除く）

*詳しくは、1月15日号広報おかやでお知らせします。

還付のための確定申告は1月から税務署で受付けています 所得税の還付申告はお早めに！

～確定申告をしなくてもよい場合でも、次のような方は還付を受けるための確定申告書を提出することができます～

- ◆源泉徴収された配当や原稿料などの収入が小額で、しかもその他の所得もあまり多くない方
- ◆給与所得や退職所得のある方で、雑損控除・医療費控除・寄付金控除・住宅借入金等特別控除などを受けられることができる方
- ◆給与所得者で年の途中で退職し、その後就職しなかったため年末調整を受けなかった方
- ◆予定納税をしたが、確定申告の必要がなくなった方

還付申告ができる方は1月から確定申告書を提出することができます。確定申告の期間は申告会場が大変混雑しますので、お早めに郵送などにより提出をお願いします。なお、2月15日以前は市町村役場では申告書の受付を行っていませんのでご注意ください。また、関東信越税理士会諏訪支部では、下記の会場で還付申告無料相談所を行っています。お早めに還付申告の手続きをされることをお勧めします。

『混雑する申告時期前に還付申告相談を！』

無料還付 申告相談	相談会場	相談日程 (土・日曜、祝日は閉庁)	受付時間 (正午～午後1時は昼休み時間)
	イルフプラザ	2月2日(月)～13日(金)	午前10時～午後3時



申告書の 提出先

諏訪税務署総務課
〒392-8610
諏訪市清水2丁目5番22号

問合せ

諏訪税務署 個人課税部門
☎ 57-5211【直通】

☆ご自分で記入した申告書は郵送で税務署へ提出できます。



岡谷市長賞決定

12月5日(金) 市役所大会議室において「中学生の税に関する標語・作文」の表彰式が開催されました。

納税標語には市内の中学校から605点の応募があり、審査の結果24点が入賞、また作文には、118編の応募があり、8編が入賞しました。岡谷市長賞優秀・優良賞は次のみなさんです。

◆中学生の税に関する標語

《岡谷市長賞 優秀賞》

▽税金で

創造しよう 夢ある日本

(岡谷北部中3年 金子友輝さん)

▽支えよう

皆の幸せ 税金で

(岡谷南部中3年 馬瀬戸薫さん)

▽税金は

僕らの未来を 背負っている

(岡谷南部中2年 熊井亮介さん)

▽税金で

みんなが勉強 できている

(岡谷南部中1年 小泉一真さん)

▽はらおうよ

未来のために 税金を

(岡谷南部中1年 久保田信恵さん)

《岡谷市長賞 優良賞》

▽税金を

納めて明るい 市民のくらし

(岡谷北部中3年 小林史佳さん)

▽税金は

未来の夢を 照らす星

(岡谷北部中3年 佐々木悠さん)

▽広げよう

住みよい町を 税金で

(岡谷北部中2年 今井大志さん)

▽税金は

みんなの夢を はこぶ船

(岡谷北部中1年 小口友規さん)

▽消費税

私にできる お手伝い

(岡谷北部中1年 小口佳緒里さん)

▽日本の

未来をたくす 税金で

(岡谷南部中3年 島山修平さん)

▽税金で

未来へ届ける 夢と希望

(岡谷南部中3年 中村透さん)

▽国民の

税で叶える 福祉の街

(岡谷南部中3年 吉池亜実さん)

▽これからの

未来へいかそう 国の税

(岡谷南部中2年 花岡源一郎さん)

▽税金で

輝くこの町 みんなの町

(岡谷南部中2年 小坂琴音さん)

◆中学生の税に関する作文

《岡谷市長賞 優秀賞》

これからの税金



岡谷東部中3年 武井優子さん

私たちが生活している中でも、税金によってみだされているものはたくさんあると思います。例えば、道路の整備によって、山道でも安全に車が走れたり、交通渋滞を防ぐことができます。ダムを造ることによって水害を防いだりしています。また、私たちが教育を受けることもその一つだと思えます。それによって、中学校までは誰でも教育を受け、基礎知識を身につけ、校舎などの整備をしていくことによって、よりよい環境で授業を受けることができます。福祉を充実するためにも使われ、弱い立場の人達を守ることでもできます。

これらのことは全て、とても重要なことで、どれが欠けても今の生活は成り立たないと思います。ただ、私はこれからの時代は、今までのような税金の生かし方だけではいけないと思います。環境を守るために、二酸化炭素や硫酸化物、廃棄物などの汚染

物質に対して課税をして、それにより、地球環境に悪影響を及ぼすのをくいとめたりするために使っていたらいいと思います。どうしてかという、地球規模での環境を守ることが私たちの使命ではないかと考えるからです。地球の温暖化が進み、現在でもいたるところでその影響が出ています。これから人間が快適に生きていくためには、絶対に環境を守らなければいけないと思います。環境に税金を使っても、目に見えた変化がすぐ表われないから、周りからの理解もなかなか得られないかもしれません。でも、私たちの子孫にたくさんの自然を残すためには、今やらなくてはいいなと思います。私たちが今の住みやすさだけに満足するのではなく、次の世代、また次の世代のために、環境に税金を使うべきだと思えます。

もしかしたら、環境を守るために今の生活が、少し不便になってしまうかもしれない。でも、一度壊れた自然を元にもどすのには、たくさんの年月がかかってしまいます。絶滅してしまった動植物は、二度とよみがえることはありません。

そんな事を考えると、環境を守るために税金を使ってほしいと思います。



税に関する知識を



岡谷東部中 3年
こだま ゆうすけ さん
小玉 裕輔 さん

僕たちが住む長野県には約220万人の人々が住んでいます。その中で個人県民税や個人事業税など、様々な税金を所得に応じて納めているということを、僕は最近までほとんど知りませんでした。

「税」と聞いて思いつくものは、消費税しかないというのがつい最近までの僕の税に関する知識の全てでした。

それが、少しずつ変わりはじめたのは、学校で税のことについて学習し、税に関する資料が配られてからでした。

僕の家は自営業でプラスチック製品等を扱う仕事をしています。なのでサラリーマンの家庭と違い、個人事業税などが関わってくるのがわかりました。

そこで、個人事業税を、いつ、どこで、どのように払っているかを聞いてみました。

すると、2月に確定申告ということを行いその年の収入に応じて、個人事業税を払っているということが更にわかりました。

しかし、今度は払った税金や、

お店で何かを買ったときに支払う5%の消費税は、どこに行き、どのように使われるかを疑問に思い、調べてみることにしました。

そして調べていくうちに、税には、「国税」「県税」そして「市町村税」があることがわかりました。それらは、国税として納められたものは国の予算へ、県税として納められたものは県の予算へ行くのだという事もわかってきました。

さらに調べを進めていくうちに、県の歳入のうち半分弱が県税や、法人税、所得税、酒税、消費税、国のたばこ税からの配分による地方交付税で賄われていることがわかりました。

もし、税金が無かったら…と考えると、税金を払わなくていいという事よりも、病気になるっても病院にかかることができな、義務教育で学校に通うことができな、といった大きな懸念の方が前に出てきます。

また、高齢者福祉にも、大きな影響を与えてしまっています。

ヨーロッパの国スウェーデンは、高齢者福祉が世界で最も進んでいる国として有名な反面、重税国としても有名だという話を聞いたことがあります。

日本でも現在、少子高齢化が進み、将来は若者にとっても大きな負担がかかってしまうという問題を抱えています。

そうなってしまわないように、

少子高齢化をなんとかして防ぐことも重要ですが、そうなってしまったときのための準備として、税に関する知識をつけておくことが必要だと思えます。

それには次世代を担う僕たちの関心・知識はまだまだ薄いと思います。これから、もっと税に関心を持ち、知識をつけていくことが最重要だと、改めて実感しました。

税の節約



岡谷東部中 3年
たきがみ えつこ さん
瀧上 悦子 さん

私はこの「税の作文」を書くことに、とても困りました。普段は全くと言っていいほど、税のことを気にしていないからです。

私たちが中学生は、消費税として、5%の税金を払っています。しかし、なぜ消費税を払うのか、税金はどのように使われているか、本当に税金は必要なのか、など深く税金のことを考えて払っているのではないと思えます。

税金と言っても、色々あります。でも、それ以上の様々なものに、税金は使われています。学校の建設費、机や椅子などの備品、無料で配布される教科書など、私たちが勉強をするために、全体の1/4ぐらいの税金が使われています。他

にも、図書館や美術館などの公共施設、私たちの命や安全な生活を守ってくれる警察官や消防士の給料、病院へ行つたときの医療費の公費負担。福祉関係では、バリアフリーの拡充、自転車放置などの整備等、本当に様々なものに、税金が使われています。

しかし今、本当に税金は無駄なく、有効に使われているのでしょうか。机や椅子、公共施設の壁や床。落書きされていたり、傷つけられていたり。そんな状態のものが、身の回りには多いのではないのでしょうか。税金を納めているのは私たちです。そして、税金が使われているものを傷つけるのも、税金を納めている私たちです。傷つけられたり、壊されたりしたものを直すのにも、税金は使われます。それは、税金の無駄使いをしていることになります。ものを大事に使い節約をすることで、税の節約ができます。税の節約ができれば、福祉の充実や教育、医療関係など、他のもののために税を有効利用することができると思えます。

これから私は、ものを大事に使いたい、少しずつでも税の節約をしていきたいです。そうすれば日本をさらに豊かにするだけでなく、地球の環境を守ることもつながります。だから他のみんなも、税の節約をすることが大切だと、私は思っています。

税と私

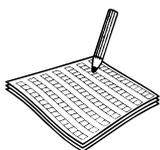


岡谷東部中3年
さいとう さゆりさん

私の身近な税として、私が考えるのは、消費税もそうですが、中学生の私には、まずはじめに、教育費ということで税が使われています。今までは、税について考えてみたことの無かった私は、それについて調べてみました。すると、学校で授業を受けたとき、お金を払っていません。大学の場合などは、授業料を払わなければいけません。しかし、それを税で負担されていることを知りました。そして、学校で使っている校舎や机やいすなどの修理も税金で負担されています。私の学校では、机やいすへの落書きなどが多かったですりして、すぐ傷んでしまいます。私自身も自分で机やいすを使うときに、「どうせ私のものじゃないから、大事にしなくてもいいか。」という軽い気持ちで使っていました。でもこのことを知って、これからは大切に使うことで、税金を大切にしたいと思います。それと共に、学校のものを大切に扱って長持ちさせることによって、税を上手に利用したいと思います。そ

して国の歳出のうち最も多いといわれる社会保障関係費です。私は、小さい頃から体が弱いため、今でもよく、病院に行きます。それと、私の家には犬がいます。私のお母さんやお父さんがよく言っている「犬は人間と違って保険がきかないから、病院に連れていっても高い金額になる。」ということを出しました。私の場合は、薬をもらったりするとき、けっこう安いなど感じます。しかし、犬の場合は、一万円もかかります。そこで税金のありがたさを知りました。

私は、もつと税金について知り、これからのように税金を利用すべきか、ということも考えてみたいと思いました。今、私たちはあまり税金に関わっていないけれど、これから大人になっていく上で、仕事によっては税金から給料をもらうことになるかもしれません。なので、最低でも自身に関係するものや、近くのことも、しっかりと学習していきたいと思います。他にも、タバコの中の税金のことや、消費税の値上げについても考えていき、明るい未来を築いていきたいと考えます。



多方面で使われている税金



岡谷東部中3年
あいざわ きみえ 鮎澤紀美枝さん

私は、税について公共物に使われているぐらいいにしか思っています。でも、租税教室で講師の方にお話をお聞きしたり、資料を読んでみて税金がいろんな所に使われていることが分かりました。

会社や自営業などで給料や収入の中から税金を納めたり、買い物のにきに払う消費税などは、あまりいいイメージではなかったけれど、私たちの身の回りに生かされている大切なものだと分かりました。

皆が納める税金が無いと、学校や道路などが建設できないし、高齢者が生活するために支払う年金が無くなってしまうことになります。税金があるからこそ知らないうちに普通に生活できているのです。

税金には、たくさん種類があるということも知りませんでした。所得税や消費税は知っていたけれど、後は、あまり詳しくは分かっていたのではありません。贈与税というものもあるし、賞金等ももらった時にまで税金を払うことも全く知りませんでした。

その税金がどこで何に使われている

るかもあまり考えて暮らしていた訳ではありません。公共事業関係費は信号や高速道路などに使われていますが、もしこれが無ければ今の便利な交通網は整備されていなくて、経済や暮らしはもつと不便だと考えられるし、事故が起ったりするかもしれません。文教、科学振興費が無いと教科書や授業で使うものを買えません。今、私たちが当たり前に勉強している事ができなくなってしまうのです。社会保障関係費はみんなが健康に暮らすためには欠かせなく、いつでも安心して病院に行けるし、その他の使い方もとても重要だと思えます。国債費が税金から出ていることは初めて知りました。いろんなことに税が使われていたの驚きました。

実際に納税している親に税金について聞いてみました。

「景気の低迷が続く中で税金を支払っていくのは実際にはとても大変。その大切な税金の使途を決めるのは国会や議会だが、税金がバランス良く、そしてできるだけ無駄が無く使われていることがもつと納得できれば、『税金を取られる』から『税金を納める』という気持ちになれる」と言っていました。

今回、税について知るきっかけとなった租税教室や、作文を書いたことを機会に税についてもつと敏感になつていたいと思います。そのため、新聞やテレビをしっかりと見て、税のことを理解していきたいです。